

1号艇 2号艇 3号艇 4号艇 5号艇 6号艇
2018年獲得賞金額
4320 峰 竜太
3557 太田 和美
3721 守田 俊介
4266 長田 頼宗
3946 赤岩 善生
4418 茅原 悠紀

1号艇 2号艇 3号艇 4号艇 5号艇 6号艇
2018年獲得賞金額
3897 白井 英治
4013 中島 孝平
4262 馬場 貴也
4044 湯川 浩司
4296 岡崎 恭裕
4547 中田 竜太



出場予定選手 [選手登録番号順。ドリーム戦出場選手は上掲]

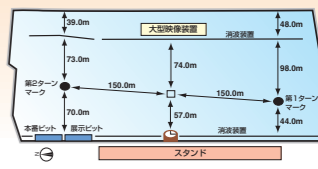
選手名の上は登録番号 下は級別・支部・年齢(前検日現在)
全国 2018年1月1日~2018年7月16日/最近6ヵ月勝率
びわこ 2015年7月1日~2018年7月14日/最近3年勝率
2018年獲得賞金額
2018年1月1日~7月29日

3300 川崎 智幸
3304 鳥野 賢太
3582 吉川 昭男
3606 川北 浩貴
3784 中島 友和
3788 一宮 稔弘
3961 谷村 一哉
3978 齊藤 仁
3983 須藤 博倫
3995 重野 哲之
4025 山本 隆幸
4049 荒川 健太
4052 興津 藍
4061 萩原 秀人
4075 中野 次郎
4184 渡邊雄一郎
4205 山口 剛
4210 松村 康太
4269 杉山 裕也
4278 藤岡 俊介
4297 山田 哲也
4311 岡村 仁
4344 新田 雄史
4364 池永 太
4370 山口 達也
4371 西山 貴浩
4384 鶴本 崇文
4398 船岡洋一郎
4427 秦 英悟
4446 和田 兼輔
4448 青木 玄太
4468 大池 佑来
4494 河合 佑樹
4513 河野 真也
4524 深谷 知博
4545 岡村 慶太
4566 塩田 北斗
4604 岩瀬 裕亮
4686 丸野 一樹
4702 三浦 敬太

予備 4344 新田 雄史(三重)/3978 齊藤 仁(東京)

2018年獲得賞金額ベスト30 (2018年1月1日~7月29日)
順位 選手名 支部 2018年獲得賞金額
1 白井 英治 山口 73,362,000円
2 馬場 貴也 福井 72,082,500円
3 中島 孝平 福井 61,315,000円
4 峰 竜太 佐賀 60,502,000円
5 井口 佳典 三重 57,602,800円
6 吉川 元浩 兵庫 55,187,000円
7 岡崎 恭裕 福岡 45,642,000円
8 桐生 順平 埼玉 43,651,000円
9 赤岩 善生 愛知 43,287,000円
10 新田 雄史 三重 39,925,146円
11 菊地 孝平 静岡 39,169,000円
12 長田 頼宗 東京 39,071,500円
13 前本 泰和 広島 38,893,000円
14 寺田 祥 山口 36,682,000円
15 濱野谷 憲吉 東京 36,609,000円
16 中田 竜太 埼玉 35,051,000円
17 徳増 秀樹 静岡 34,917,000円
18 松井 繁 大阪 34,814,000円
19 茅原 悠紀 岡山 34,427,000円
20 池田 浩二 愛知 34,105,000円
21 瓜生 正義 福岡 33,736,000円
22 太田 和美 大阪 32,901,000円
23 笠原 亮 静岡 32,039,000円
24 石野 貴之 大阪 31,959,400円
25 坪井 康晴 静岡 31,533,000円
26 平本 真也 愛知 31,142,300円
27 吉田 拓郎 岡山 31,005,000円
28 平尾 崇典 岡山 30,980,230円
29 丸岡 正典 大阪 30,016,000円
30 西山 貴浩 福岡 29,533,800円

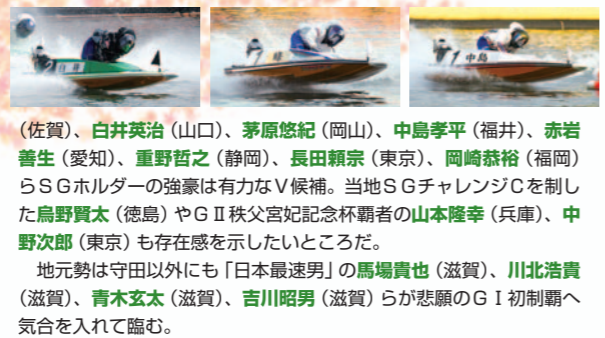
BOAT RACE びわこ コース・モーター & 3連単 DATA



開設66周年記念 GIびわこ大賞 総展望

地元周年V2を狙う守田に 優勝賞金900万円 白井、峰、中島ら今年の賞金上位勢が襲い掛かる!

絶対王者・松井が不在。優勝争いはますます熾烈に!
びわこの周年記念では毎回のように優勝候補の筆頭に挙がる「絶対王者」松井繁が今回は不在。
V戦線の主役を務めるのはびわこのエース・守田俊介(滋賀)だ。前回大会では準優勝、昨年2回あったGII 秩父宮妃記念杯でも優出。強さを倍増させる地元水面で、今度こそ2回目の周年タイトル制覇をいきたいところだ。
とはいえ、当タイトルの歴代覇者に名を刻む湯川浩司(大阪)、山口剛(広島)、新田雄史(三重)をはじめ、太田和美(大阪)、峰竜太



穏やかな水面状況でセンター、アウト勢にも出番!
琵琶湖が水位のピークを迎えるのは4月から5月にかけて。秋、冬は対照的に水位が低く、びわこ特有のうねりの波長が小さくなる時季だ。北東の強い追い風が吹くようなら荒れ水面の可能性はあるが、うねりで攻め不発というシーンは春や夏に比べて間違いなく減少する。以前より1着率が上昇したとはいえ、インが弱いという水面特徴は変わっていないだけに、センターやアウトが活躍する多彩なレースが開かれるはずだ。
11、57らエース候補たちが好調。そろそろ中間整備も...
現行モーターは6月が初下ろし。毎年パワー差が激しいびわこらしく、エース候補に挙がる11、31、43、44、57といったところは毎回のようにトップ級の仕上がりをを見せている。これら注目艦を引き当てる面々がコース不問で活躍するのがびわこのパターンだ。また、おなじみの中間整備もそろそろ行われる頃。新聞などでパワー急変モーターに関する情報のチェックも忘れてはならない。

GIびわこ大賞 [びわこ・開設記念競走]
最近10大会の優勝者
回 開催年度 優勝者
第56回 2008年 平尾 崇典
第57回 2009年 新田 雄史
第58回 2010年 池田 浩二
第59回 2011年 篠崎 元志
第60回 2012年 山口 剛
第61回 2013年 守田 俊介
第62回 2014年 山崎 智也
第63回 2015年 松井 繁
第64回 2016年 湯川 浩司
第65回 2017年 片岡 雅裕
第66回大会 優勝戦
2018年9月17日(日)・第12レース

今が旬! ハイパワーモーター ベスト3
11号艇 2連率 42.8% 出足 ○ 伸び ○ 回り足 ○
初下ろしシリーズで汐崎正則が節イチ級のパワーで優出3着。4節目に新ペラ交換となったものの、最大の特徴である強力な伸びを中心にエース級のパワーに陰りは見られない。
57号艇 2連率 45.9% 出足 ○ 伸び ○ 回り足 ○
初下ろしから伏兵陣が強パワーを披露していたが、川島圭司→尾崎一広が連続優出。尾崎はびわこ初優出を果たすと、2コースからの捲りで優勝。特に出足関係は超抜級だ。
43号艇 2連率 53.8% 出足 ○ 伸び ○ 回り足 ○
地元の松山将吾が初下ろし節で優出。それに降も木村光宏、濱村芳宏らがトップ級のパワーでファイナル進出を果たしている。こちらもエース候補に挙がる好索性モーターだ。

最近6ヵ月 進入コース別成績 (2018年1月1日~7月14日/1.225レース)
進入コース 勝率 1着率 2着率 3着率 平均 ST 逃げ 捲り 押し 差し 抜き 悪まれ
1コース 7.63 49.0% 18.4% 7.7% 0.16 546回 0回 0回 47回 2回
2コース 6.06 15.8% 28.8% 17.5% 0.17 0回 47回 0回 127回 17回 2回
3コース 5.48 13.2% 19.8% 20.7% 0.17 0回 75回 37回 35回 12回 2回
4コース 5.39 15.2% 15.4% 20.8% 0.18 0回 75回 49回 43回 17回 2回
5コース 4.10 5.4% 10.3% 17.6% 0.18 0回 14回 32回 9回 8回 3回
6コース 3.55 1.9% 7.8% 16.1% 0.19 0回 6回 10回 4回 2回 1回
モーター2連率ベスト9 (2018年6月・使用開始~7月14日)
順位 モーター番号 2連率 勝率 順位 モーター番号 2連率 勝率
① 55 60.5% 7.08 ⑥ 54 48.4% 6.15
② 29 58.9% 6.95 ⑦ 47 47.3% 6.61
③ 61 54.0% 6.57 ⑧ 24 47.3% 6.26
④ 43 53.8% 6.77 ⑨ 57 45.9% 5.81
⑤ 65 50.0% 6.45 ⑩ 52 45.9% 5.68
●びわこはチャルト1.5度まで使用できます。